北代縄文館ミニ企画展

令和４年７月１２日発行

栗山コレクションの土偶・土製品

１　栗山邦二氏と栗山コレクション

ありし日の栗山邦二氏

栗山邦二氏は明治 36（1903）年に富山市秋吉で生まれ、富山商業学校(現在の富山商業高校)在学中、教師に感化され考古学を志されました。卒業後、銀行勤務を経て大久保郵便局長を務める傍ら、休日には寸暇を惜しんで富山県内はもとより岐阜県や石川県各地を歩き、地表にあらわれた考古遺物を研究のために採集して遺跡の存在を明らかにされました。これは、考古学研究で最も基本となる分布調査にあたり、現在も行われています。

栗山氏は土器や石器などの採集品のほか、考古学に関する新聞記事の切り抜きも大正４年から残しており、資料の内容は富山県の考古学を研究する上で重要です。

昭和５８年頃から、栗山氏は資料を一括して後世に伝えたいと希望され、富山市考古資料館に寄付を重ねられました。これらは「栗山コレクション」として考古資料館に収蔵・保管され、主な資料は現在も常設展示されています。栗山コレクションの内容は、昭和 62 年と平成 29 年に刊行された目録で知ることができます。

栗山コレクションは、遺物の多くに採集地が記録されています。遺物の数や種類の豊富さも重要ですが、採集記録が正確に残されていることが、その資料価値を高めています。

栗山氏が遺物を採集された富山市の遺跡のうち、北代遺跡と直坂遺跡は、地域の歴史を物語る重要な遺跡として国史跡に指定されており、遺跡の保護につながっています。

本展では、栗山コレクション総数 7,945 点のなかから、北代遺跡などで見つかった縄文時代の土偶・土製品を紹介します。

２　展示品の解説

(1)土偶

土偶は人の形をした土製品です。縄文時代早期に関東で作られはじめ、前～中期には表現や表情が複雑となって東日本一帯に分布するようになり、地域差も見られるようになります。後～晩期になると全国に広まり、大型化して精緻な土偶が作られるようになります。

土偶の多くは乳房や大きく膨らんだお腹などが表現されており、女性を表わしたと考えられます。形態的には平たい板状土偶から中期には立体的な立像土偶が作られます。また中身が空洞のものと身の詰まったものの２種類があります。

土偶の用途は、神像、おもちゃ、装飾品、地母神、お守り、呪物など様々な説があります。

また、土偶の多くは、壊れて欠損した状態で出土することから、何らかの儀式でわざと壊し

て廃棄されたとする説もあります。

栗山コレクションの土偶にも完形品はありませんが、形態としては、平たくて中身の詰まったもの、部分としては、頭部や胴部、腕部の上半身が多い傾向があります。

(2)ミニチュア土器

超小形の土器のことで、実用できないような小形品をいいます。形は、通常の大きさの土器と同様に文様を描いた精巧なものもあれば、無文のものもあります。その用途は祭祀用や子どものおもちゃなどの説があります。栗山コレクションのミニチュア土器は、深鉢型が多いようです。

(3)三角とう形土製品

三角柱状の土製品で、文様が描かれたものと、無文のものがあります。中央に孔を開けたり、一面だけ無文にして底面を意識してつくられていることから、紐を通したり、置いて使ったりしたと考えられますが、その用途はよくわかっていません。

(4)土版（どばん）

粘土で作られた、長方形や楕円形の平らな板状土製品で、表裏に文様を描いたり、線刻されています。端に孔を開けた例があることから、ペンダントのようにぶら下げてお守りにしたという説があります。

3　展示品目録

番号	遺物名	採集場所	番号	遺物名	採集場所
1	土偶(胴部)	北代	21	土偶(胴部？)	採集地不明
2	土偶(頭部)		22	土偶(胴部？)	
3	土偶(頭部)	笹津	23	ミニチュア土器(深鉢)	北代
4	土偶(腕部？)		24	ミニチュア土器(深鉢)	笹津
5	土偶(頭部)		25	ミニチュア土器(底部)	
6	土偶		26	ミニチュア土器(底部)	
7	土偶(胸部)	春日	27	ミニチュア土器(浅鉢)	直坂
8	土偶(腕部？)	小糸	28	ミニチュア土器(底部)	布尻
9	土偶(腕部？)	文珠寺	29	ミニチュア土器(底部)	稗田
10	土偶(頭部)	大川寺	30	ミニチュア土器(深鉢)	採集地不明
11	土偶(上半身)	塩屋臼元	31	ミニチュア土器(深鉢)	
12	土偶(胴部)	高野	32	ミニチュア土器(壺？)	
13	土偶(腕部)	採集地不明	33	三角とう形土製品	北代
14	土偶(腕部？)		34		中大久保
15	土偶(胸部？)		35		採集地不明
16	土偶(腕部)		36	土版	北代
17	土偶(頭部)		37		中大久保
18	土偶(腕部？)		38		笹津
19	土偶(腕部か脚部？)		39		石神
20	土偶(脚部？)		40	土版？	採集地不明

※展示にあたって、考古資料館の協力を得ました。

編集・発行　富山市教育委員会　埋蔵文化財センター